

【ワークダイバーシティとは】

ライフスタイルや特性を踏まえた多様で柔軟な働き方の実現により、一人ひとりが持つ力を発揮し、幸せを実感することができるまちを目指す岐阜市の取組み

【ワークダイバーシティや働きがいのある職場づくりに取り組む企業の例】

就労困難者を積極的に雇用する企業、定年や年齢制限を廃止し高齢者を雇用する企業、育児休業制度の活用推進に取り組む企業、短時間勤務・在宅勤務・フレックスタイム制度などを導入する企業、スキルアップを支援する制度を設ける企業、ジェンダーギャップの解消に取り組む企業 など

【具体的な取組事例】

- ・厚生労働省のトライアル雇用制度を活用し、就労困難者（障がい者・難病患者・就職氷河期世代）を積極的に雇用している。
- ・定年を廃止し、高齢者を積極的に雇用している。
- ・心身の特性により長時間働くことが困難な方を週20時間未満で雇用している。
- ・性別や障がいの有無にかかわらず全社員を正社員として採用している。
- ・育児休業の取得率を向上させるため全社員で業務を調整する仕組みを設けている。
- ・従業員が子育て・介護等に活用するための制度（短時間勤務制度・在宅勤務制度・フレックスタイム制度）を導入している。
- ・家庭や学校等の事情に配慮し、子連れ出勤制度を設けている。
- ・管理職に女性を積極的に登用する等ジェンダーギャップの解消に取り組んでいる。
- ・産前産後休暇、育児休暇からの復職者が不利にならないよう昇給・昇進の制度を整備している、または昇給・昇進の基準が明確化されている。
- ・アルバイトやパート従業員が正規雇用となれる制度を設けている。
- ・従業員のスキルアップのための社内研修・社外研修を実施している。
- ・従業員を認定職業訓練に参加させている。
- ・従業員の資格取得費用や研修受講費用を補助する制度を設けている。 など